

第一回研修旅行 恵那、加子母

日時：平成 22 年 7 月 16～17 日 一泊二日

行先：岐阜県恵那市、中津川市加子母

参加者：NPO 法人中小企業サポート隊 関係者 14 名

■当会森本理事が岐阜県恵那市に移住され、その環境の素晴らしさに、見学を兼ねての定例会以外初めての研修活動となりました。

初日は大荒れの梅雨がやっと明けた日となりました。

木曾川に日本最初の大井発電用ダムが福沢桃介により建設され、できたダム湖が恵那峡となり、その景観の素晴らしさが観光地になりました。

当日は前日来の大増水により、湖面も濁っていました。



■翌日は山里・加子母の森本正則氏（ご子息）が提唱する、自然暮らしを実体験しながら住まいされている「もりのいえ」に訪問し、昼食に自然食や地ビールをいただきながら、田舎暮らしの説明を受けました。そしてほぼ自給自足の生活ぶりにびっくりしたり感心したりしました。テレビも置かず、電気は自前の太陽光発電パネルからも供給されています。いずれ小型風力発電も予定されているとの事です。

水は山からの湧水や雨水タンクを設置され、水洗トイレは雨水利用も可能となっています。また回収した廃てんぷら油を何回もフィルターでろ過し、そのまま軽油の代用として永年マイカーに利用され、遠距離実走行もされています。

最近はこの様な生活体験ができる「農家民宿」に、全国から希望者が多数来訪し、宿泊体験参加型の方も多くなっています。

ご本人は、ISO コンサルタントとして、全国を奔走しながらの田舎暮らしを楽しみ、益々地元密着を推進されています。

